

平成30年 1月発行 第36号
 発行元：福生市立中央図書館
 福生市熊川 850-1
 TEL：042-553-3111
<http://www.lib.fussa.tokyo.jp/>

オススメ本 紹介コーナー!

終戦のローレライ 上・下

福井晴敏／著
 講談社（二〇〇二年）

一九四五年八月、敗戦後のドイツから日本に持ち込まれる、謎の兵器P S M B 1（ペーエスエムベール・アインツ）通称「ローレライ」を巡る物語。

一人一人の思いや考え、イメージが細かく、鮮やかに描写されていて、読めば読むほど味が出る二冊。海戦シーンも迫力で潜水艦好きも楽しんで読むことができる。
 かなりページ数の多い本だが、今年の八月までに読んでみて欲しい。
 NAO!!

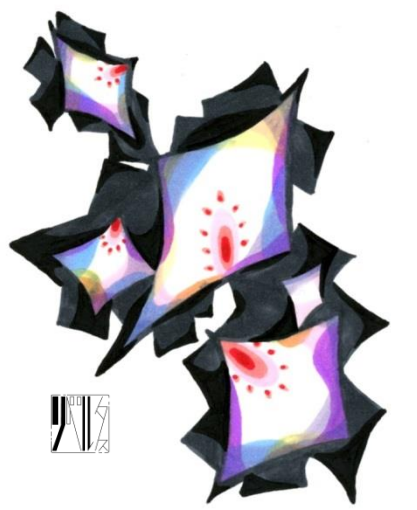
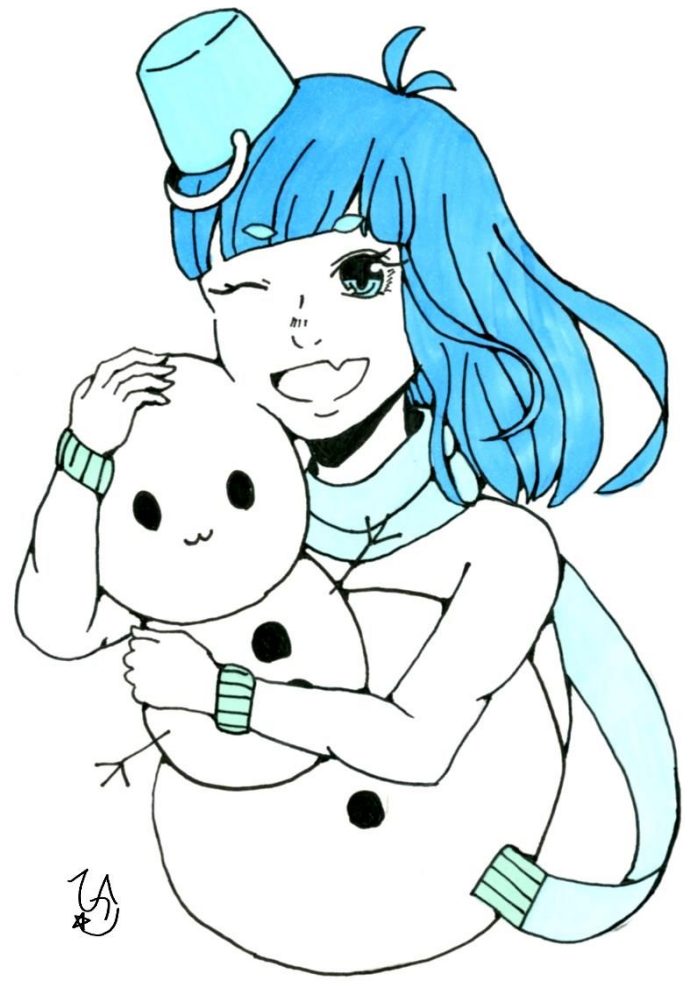


名のないシシヤ

山田悠介／著
 角川書店（二〇一二年）

五十年前、十人の子供たちは気が付くと時計台の下にいた。彼らはみんな十歳ほどの姿で、どのようにして時計台にきたのか覚えていなかった。彼らは食事も睡眠もとる必要はない。血が流れていないから成長もせず寿命もない。彼らは人間の残り寿命が見え、『10000000000』秒の時間を人間に与えることができる『使者』だということを知っている。これは五十年前の十人のうち三人の『使者』と人間の物語。↓

命と人生のお話。作中てた皆さんの別れを経験します。一番心に残ったセリフが「生まれた時から死ぬ日は決まっているのだから」。なんとなく死ぬことが身近なことに感じました。



体育館の殺人

青崎有吾／著
 東京創元社（二〇一二年）

当時、現役大学生だった作者のデビュー作である本作は、本格学園ミステリである。

放課後の旧体育館で、放送部長が何者かに刺殺された。しかし、外は激しい雨が降り、現場の舞台袖は密室状態だった。死体発見現場にいわせられた卓球部員・柚乃は、事件発生時に現場近くについて、犯人ではないかと嫌疑をかけられた卓球部部长を救おうと学内随一の天才・裏染天馬に真相の解明を頼んだ。しかし、裏染天馬はなぜか校内で暮らしているアニメオタクの駄目人間だった――。

本格的なミス터리なのに、ところどころにアニメオタクならわかる、ユーモアがちりばめられている。アニメが好きではない人でも楽しめる作品なので、沢山の方に読んでもらいたい。
 ☆Kb



地平線の相談

星野源、細野晴臣／著
 文藝春秋（二〇一五年）

この本は対談本です。細野晴臣は別の号でも紹介したので省略しますが、Yellow Magic Orchestraのメンバーで、古いミュージシャンです。私は彼の独特な雰囲気や生き方に星野源と同じく感化されています。また、言わずと知れた星野源もまた波乱万丈人生を送っていて、重い病に二度倒れ、蘇り、著書を持ち、今ではコウノドリなどで俳優業も両立しているミュージシャンです。紅白歌合戦にも出たので記憶に新しい方も多いのではないのでしょうか。

対談しているどちらも時代の先端に立っていた、立っているミュージシャンですが音楽の話よりも人生や生活に密着した話が多く共感しやすい内容です。というのももとと雑誌「TV Bros.」で連載されていた対談でそれぞれ短く分かりやすく、密度の高い内容になっています。



スパイス&ハーブ事典

榊田千佳子、
 エスビー食品株式会社／監修
 学研パブリッシング（二〇一五年）

私の二〇一八年の目標は春夏秋冬に各一回はソロキャンプに行きたいと思っています。近年はアウトドアブームが目覚ましく、コミックでは「山と食欲と私」冬アニメでは「ゆるキャン△」がアニメ化するなどブームが来ていると思います。私もその波に乗じてやってみようかという心持ちです。

キャンプといえば肉料理、肉料理に欠かせないのはスパイスです。ハイキングならお茶をすすめるわけが多いのです。昨年では薬膳ブームというのもあり、スパイスやハーブへの関心は高まる一方です。辞典といいつつもレシピも併せて紹介してあり、実用的な一冊です。また日本古来のゴマやヨモギも紹介されている他、植物別ではなく種類別に載っているためナツメグとメーソで別々の解説が載っています。スパイスはヨーロッパからアジア圏、アメリカまで、万国共通して使われているので知れることがすごく多いです。また、載っているものは大抵口にしたことがあるものばかりで、その身近さに驚きます。

皆様の今年のやりたい事は何でしょうか。まだ決まっていなくても、人にはぜひオススメしたいと思っています。

